

2012年9月13日(木) 10時半～11時半

高津区役所「危機管理担当」にヒヤリング

高津区危機管理担当の防災担当：佐藤課長、並木氏、柿木氏
高津 We ネット：三浦代表、加藤、市民のMさん（二子在住）

○危機管理担当は「課」ではないのか？

危機管理担当は、副市長の直轄。今年4月から各区役所に配置。

○高津区地域防災計画（平成19年作成）の見直しは？

川崎市地域防災計画「第1期修正」が今年9月。市の計画をもとに、すでに緊急の修正版はアップ済み。トラフの被害想定を考慮したものを盛り込み、川崎市地域防災計画「第2期修正」の公表が来年の9月なので、高津区はそれ以降。高津区では、昨年11月に第1回「防災ネットワーク会議」を開催した。

○高津区の特徴は？

①急傾斜地43か所（県が指定）の対応。

⇒「土砂災害ハザードマップ」をもらった。

区内の警戒区域、危険区域がわかる地図になっている。

②溝の口ターミナルの帰宅困難者対策で訓練までいければ・・・。

○多摩川の津波溯上は？ コンビナート火災も溯上するのでは？

川崎・幸は影響あるが、高津区は津波の被害は想定に入っていない。
相模トラフ3連動（文科省発表）そこはまだ想定が出ていない。
河川の氾濫は、200年に一度の前提のハザードマップがある。

⇒「多摩川洪水避難地図（多摩川洪水ハザードマップ）」をもらった。

多摩川沿い（二子）は海拔4m、高津区役所は海拔24m。

○うちのマンション（二子）の土がビショビショしていて、水位が心配。

水位があがるよりも液状化が問題。（地図で）浸水危険地域の中原は水田だった。
地図は、市のホームページから町名ごとに見られる。

○県のHP「e-かなマップ」でも見られますよ。ただし、想定が多すぎて見方が難しい。
知らなかった。あとで見てみる。

○サイレンは河川の氾濫のときに鳴るのか？

サイレンの種類はいくつかある。

⇒「備える。かわさき」8月改訂版 p14 に記載あり。

○「防災行政無線」が3・11のとき何も放送されず、情報が得られず不安だった。

3・11は高津区で震度4だったので、「逃げなさい」とか出ない。
放送する・しないは、区長（区災害対策本部長）が判断する。
避難場所の解説や断水のとくに放送する。

私たち3人とも3・11のときは高津区配属でなかったので、状況がわからない。

○活断層がどこにあるか？

川崎市はない。発見されていない。

○読売新聞に、川崎市は水の備蓄が少ないと書いてあった。

3日分（1人1日3ℓ×3日×人数）の備蓄をお願いしている。

○応急給水拠点とは？

「高津区防災マップ」を見ていただくとわかるが、17箇所まで増えた。

規模：容量100㎡の拠点が17か所中6か所ある。

水道管が折れないタイプに耐震化をすすめているところ。

夜間も想定している。市民がカギを開けることはできない。

上下水道の部隊が出動する。

○取りに行けない人は？

助け合いでやるしかない。

○給水車は何台ある？

いま手元に書類がないが、中原・高津・____の3区で5台（2t／1台）。

初動が動かない。順繰りに巡回する。

○町内会の加入率が低いと聞いているが？ 調べたら高津区は65000世帯だった。

区内の自主防災組織は、町内会にお願いしている。

震災時、マンションが多いのでエレベーターの閉じ込めが多くなる。

○「避難所」は全壊か半壊の人と聞いたが？

全壊か半壊の人が対象。 ⇒[市民にぜひ周知して欲しい！](#)と言った。

1か所に職員が5人とか配置になる。

夜間や休日は、誰が何処に（地域要因と言う）かなぐり捨てて行く。

しかし、避難所の手伝いしかできない。足りないものの窓口とか。

全小学校に無線機を設置した。発電機もある。

ここからは【高津区地域防災計画】（平成19年3月発行）に沿って聞いた。

○P2.「急傾斜地崩壊危険区域」が市内82箇所のうち、高津区内に43箇所もある。

○P2.帰宅困難者が予想されるが、溝口駅の乗降客は？

一日22万人。

○P3.職員動員基準で「指定された区役所等に自動参集」とあるが、やったことは？

参集のシミュレーションはしていない。

○P5.自主防災組織とは？

町内会・自治会の活動。訓練・機材などの助成がある。

何人いるか把握はしていない。

- P5.「地域防災拠点」としての市立中学校の校舎や備蓄倉庫等のカギは？
地域防災拠点：中学校 6 校ある。それぞれ運営会議あり、危機管理担当が事務局として入っている。運営会議の代表者がカギを持っているはず。
- P6.「広域避難場所」は、多摩川河川敷・市民プラザ・橘処理センター・緑ヶ丘霊園の 4 箇所あるが、河川敷は危険ではないか？
川の水位の上昇で判断する。
- P6.「避難所」は何箇所か？
23 箇所。高津高校 1 校、中学校 6 校、小学校 15 校、スポーツセンター1 箇所。
- P6.「一時避難場所」とは？
一時的に避難する公園や空き地。
- 「広域避難場所」「避難所」「一時避難場所」の区別がわからない。判断に迷うのでは？
分かりにくいですね。
- P13.災害時要援護者の支援について。
登録者数を把握しているか？
自主防災組織から最低 1 人、民生委員などが支援者となって、支援ガイドに沿って順次すすめている。事前に訪問して、初回訪問数を把握する。
⇒まだやっていない感じを受けた。
個人情報保護の規制があって、なかなか把握が難しい。
- 個別プランを立てることになっているが？
個別プラン??
⇒課長だけのご存じだったが、まだプランまで至っていないと思われる。

ここで 1 時間が経過したので、まだまだ聞きたいことはあったが退散した。